

日泰辭書原稿「キ」の部（3）

キムヨリキオコまで

第一次検討（主として用例）

伊丹

第二次検討（助詞其他）

淺野

第三次検討（品詞分類）

中島

第四次検討（全般）

✓ 長沼



111

ギム

義務

名

○ 義務を果してせいした。

○ 納税の義務を怠る。

○ 親は子を養はねばならない義務がある。

○ 彼に助力せねばならぬ義務はない。

○ 人は義務を負はせたまへ、一向に指圖も

してくれない。

ギム (20)



キ  
メ  
き  
め

〔木目〕肌理  
(右)

●(一) 木材

○ 飯櫃の天井板は  
木目が粗い。色が  
貴はれま

(二) 肌理

○ 彼女の色肌は  
黒い。肌理が細い。  
なかまのみ

美人だ。

ギ  
メ  
仁  
子  
め  
い

○ 彼等は偽名

(密名に泊つた)

で

投宿した

か

外賞  
所持品

から  
発覚した

偽名

(名)

キメコム きめこむ

極 込む [他]

① きめろ 思ひこむ

② <sup>きめろ</sup> 君だけ はまるのと 極 込んで おろよ。

のが いけなかつた

③ 様子 をする

④ 彼は い、氣になつて 色男を 極め込んで おろ 様子だ。

⑤ 知らぬ顔の 半兵衛を 極め込ん だ。 意

キメツケル 締めつける

極め附ける

(他下)

強く叱りつけること。

○ ~~いく~~ <sup>雇</sup>人だからといつて人前であわほ

~~お~~極めつけなくてもよきさうなものだ。

○ ~~あ~~まり度々の事だから。今度は手むとく極<sup>附</sup>めてやろう。

キモ

きも

〔肝・膽〕

(名)

(一) 動物の肝臓。轉じて真心。

○ 私は鰻の肝の鰻焼が大好物だ。

○ 御教訓言葉は肝に銘じて忘れません

(キ) ~~膽囊~~ 転じて 膽力

○ 熊の膽は熊のいといつて男胃の薬になる。

○ 暗闇で犬に吠えられ膽を潰した。



キモク

氣持

名

○ 氣持が悪い (好い)

○ 好い氣持で寐過した。

○ あまり露骨に言ひすぎたので氣持を悪

くしたらしい。

○ 久し振のお天氣で晴れやかた氣持に下

つた。

キモノ

○ 着物を着る

○ 着物を脱ぐ

○ この着物は小さくなつて着られぬ

○ 着物を澤山持つてゐる

着物

名

ギ  
モ  
ン  
ぎ  
も  
ん

〔疑問〕  
〔名〕

〔質問〕

○ 疑問があつたり何でも尋ねなさい。

〔疑念〕 疑はしきこと。

○ あの病人は今晚一晩持つかどうか疑問だ。

キヤア

キヤア

(副)

驚きの為に思はず発する語

彼は思はずきと叫んだ。

キヤア  
キヤア  
キヤア

キヤア  
キヤア  
キヤア

(副)

○子供が泣いてる。

キヤ

ク

キヤク

客

敬(オ)

名

○ 誕生日に客を招いた。

○ お客様が三人いらつしやります。

○ 客に接する商賣。

○ あの家から客によぼれる。

ギヤク

ギヤク

逆

反

④

「サカサマ、反対」

「たはぶたを逆は読むと「はた」となる。」

の間違ひがあるといけなから今度は逆は

察せてみろさい。

の逆は必ずしも真ではない。

知君は僅のいふことを逆にとつてぬる。

ギャクジョウ

ぎやくじやう

〔逆上〕

(名)

――自下変

○彼は嬉しみのあまり此の逆上気味であつ

た。

○あまりの悲しみに逆上してしまつた。

△のほせるがと同一意味である。

キヤクシヨク、キヤクシヨク

脚色

(名) する。他。十。変。

○この劇は同名の小説を脚色したのであ

3.

の彼の脚色を  
受持した  
押當した。

(279)



キ  
ヤ  
ク  
セ  
ン  
  
~~キ  
ヤ  
ク  
セ  
ン~~  
  
客  
船  
  
(3/2)

○ 何萬噸の客船。

○ 歐洲航路の客船。

ギヤクタイ

ぢやくたい

〔虐待〕

〔名〕

—する他カ変

○あの位虐待されれば居てくれと言はれて

と居られまい。

○動物を虐待するな。と小さい事は子供の中か

し教へ込まねば駄目だ。

○あまりな虐待ぶりなのでとうとう逃げ出した。

キヤクホシ

まやくほん

脚本(名)

○彼(不度)

脚本の中(如)に上演された。とりはキマレ

山本君

留(ら)ねい。

○私は主として映画の脚本の検閲をやる

わま

キクマ

きやくま

〔客間〕

〔名〕

〇客間

~~客間~~  
は南向きです。

お花を取替へてありませう。

〇ここが僕の家。居間兼客間だ。

キヤシヤ

キヤシヤ

〔華奢〕

〔名〕形動

20

(中) 身体が細、そりしてゐること。脆弱。

○ あんな華奢な身体ではこの仕事は無理だ。

(中) 器物が脆弱なこと。  
(運物等)

○ こんな華奢な作りの家では少し強い風が

吹いたら倒れてしまふ。

~~中) 優雅なこと。~~

○ 何となく華奢な娘ですね。

キアスX

キヤスメ

キヤスメ

気休め

名

○こんが薬休ほんの気休めに過ぎない

○そんが気休めの文句には騙されない

キツカンテキ ちやくくわんてき 客観的 〇

〇物事セ客観的に見ろ。風日養ふことは藝術

謀いとつては大切な事です。

カフカンテキ 〇



ギヤッ  
コウ  
ぎやくかう  
〔逆行〕  
〔名〕—する。自ナ変。

(ト) 車などの。

の 勾配でブレーキが利かず車は逆行し始め

た。

(中) 時世に

の 試験制度は時代に逆行するもの故とは世

概言はれなり。

の あつ人は時世に逆行する様な事はかりす

る。

MSR  
Witt

キヤ

ベツ

*collage*

名

外来

○キヤ  
ベツ  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま

○キヤ  
ベツ  
ま  
ま  
ま  
ま  
ま

キヤラコ

キヤラコ

〽

○キヤラコの足袋を一足下さい

キヤラメル きやらめろ

(名)

○ ~~學校~~キヤラメルをしゃぶる。たりしては

いけませへ。

○ おとあしと苗字番をすぬ九から御校美

内キヤラメルを上げませう。

キヤン

まかん

(副)

犬の啼き声

○犬如まかんまかんをいてる。

キコウ

まゆ

灸

(名)

△よく待<sup>ナ</sup>を察してオキコウといふ。  
○お腹(ナカ)に灸をすえる。